

## 研究成果及び活動一覧 (2007. 1. 1～12. 31) [五十音順]

- A : 著書、論文、書評など  
 B : 学会での口頭発表その他の活動  
 C : 講演、論説など  
 D : 学術的調査

## 上原麻有子

- A : 1 (論文)「西田幾多郎における subject と翻訳の問題」、アジア遊学第 98 号、特集フランスにおける日本学の現在 (勉誠出版)、2007 年 6 月、pp. 39-47、6. 30  
 2 (論文)《De la nature (*shizen* 自然) au milieu (*kankyô* 環境) selon Nishida Kitarô》, *Japon Pluriel* 7, Paris, Éditions Philippe Picquier, décembre 2007, pp. 273-279
- B : 1 (学会) “Conceptualization and Translation of *Jikaku* and *Jiko* in Nishida”, Panel “Japanese Philosophy in East Asia”, The Fifth International Convention of Asia Scholars, Kuala Lumpur Convention Centre, 8. 4  
 2 Groupe de recherche sur la philosophie dans le Japon moderne (Centre d’Études Japonaises/Institut National des Langues et Civilisations Orientales, Paris) 企画委員、《Compte rendu 4》、《Compte rendu 5》(「年間報告書」第 4 号、第 5 号) 編集委員
- D : 1 「日本文化発信者」育成プログラムにおける言語文化学科研究会活動、「近代日本哲学を読む会」(西田幾多郎の思想を概説) および「翻訳研究会」(Jane Austen の *Persuasion* の翻訳実習) を主催

## 岡田恒雄

- A : 1 書評 「現代ドイツ演劇の潮流を見つめる目 (新野守弘『演劇都市ベルリン』+谷川道子『ドイツ現代演劇の構図』) ワセダ・ブレッター第 14 号、pp. 204-208、早稲田ドイツ語学・文学会 編集委員会、3. 25.
- B : 1 学会発表 「J. M. R. レンツ——ドイツの叙事的社會劇の祖」、日本ヘルダー学会春季研究発表会、立教大学池袋キャンパス、5. 27.
- C : 1 公開講座 「現代のドイツ演劇—日本の伝統演劇からの影響—」明星大学青梅校第 31 回 公開講座、10. 27.
- D : 1 編集・発行 「明星大学歌舞伎講座 ～歌舞伎とシェイクスピア～報告書」(明星大学日野校シェイクスピアホールにおける歌舞伎講座の報告書) 2. 16.  
 2 編集・発行 「明星大学演劇講座 ～シェイクスピアとオペラと歌舞伎～マクベスと光秀 報告書」(明星大学日野校シェイクスピアホールにおける演劇講座の報告

書) 2. 16.

### 勝又 基

- A : 1 (論文)「藤井懶齋年譜稿(1)」、「明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科」第15号、pp. 97-107、明星大学青梅校、3. 25
- B : 1 文学研究資料館研究プロジェクト「近世後期小説の様式的把握のための基礎研究 (代表 大高洋司) 共同研究員
- 2 国文学研究資料館研究プロジェクト「19世紀の出版と流通 (代表 大高洋司) 共同研究員
- 3 科研費補助金 (基盤研究(B))「旧台北帝大に遺存する国学者・長沢伴雄の旧蔵書に関する総合的研究」(研究代表者 高橋昌彦〈福岡大学〉) 研究分担者
- 4 (学会活動) 日本近世文学会ホームページ委員
- 5 (口頭発表)「近世前期大名における孝子表彰と孝子伝 ——松平忠房の事例を中心に——」、北陸古典研究会 (於金沢大学サテライトプラザ)、9. 15
- 6 (口頭発表)「近世前期大名における孝子表彰と孝子伝 ——松平忠房の事例を中心に——」、日本近世文学会平成19年度秋季大会「(於佐賀大学)、11. 10
- C : 1 (監修) 博物館展示「古典文学の中の三島」(於三島市本町プラザ)、2. 8—5. 22
- D : 1 授業「日本文学史」の一環として、落語家の三遊亭白鳥師匠を招いて「落語体験教室」主催、7. 9
- 2 言語文化学科主催の文化講演会 (「神田陽子の体験! 講談教室」) コーディネートおよび司会進行、座談会「伝統話芸と女性」(神田陽子氏・上原麻有子・勝又) 聞き手、7. 14
- 3 (学術調査) 科学研究費「旧台北帝大に遺存する国学者・長沢伴雄の旧蔵書に関する総合的研究」の一環として台湾大学図書館へ長沢伴雄旧蔵書調査、8. 6—8. 10
- 4 蒼星祭において落語会「第2回寄席蒼星亭 柳家喬太郎独演会」主催、10. 8
- 5 (解説)「伝記の芸、講談」、「第8回ゆとりぎ寄席 パンフレット」、羽村市生涯学習センターゆとりぎ、12. 5
- 6 伝統話芸研究会の学生と共に落語会「放課後落語会」(出演…隅田川馬石師匠) 開催、12. 12

### 加藤めぐみ

- A : 1 「言語藝術に表れることがら—文学に見る日豪関係」、『言語と藝術』日本文化学部編第14号、pp. 119-145、3. 20.
- 2 分担執筆『オーストラリア入門 第2版』竹田いさみ他編、東京大学出版会、第2章1、2—(2)~(3)、3—(2)~(3)、2007. 9. 26.

- B : 1 学会発表 “The Colonial Eye: Darwin and Representations of the Japanese ‘Other’ in Australian Writing”, Association for the Study of Australian Literature 学会 “The Colonial Present”、ブリスベン、クィーンズランド大学、7. 2.
- 2 学会発表 “Representations of Japan and Japanese People in Australian Literature” 報告」オーストラリア・ニュージーランド文学会、日本女子大学、11. 17.
- 3 オーストラリア学会理事、『オーストラリア研究』編集委員
- 4 オーストラリア・ニュージーランド文学会理事、『南半球評論』編集委員
- D : 1 「戦争・市民・ネイション—オーストラリアにおける太平洋戦争の体験と公的記憶の位相」、りそなアジア・オセアニア財団助成共同研究・新潟県上越市、上越日豪協会会員面談調査及び直江津戦争捕虜収容所跡地、平和記念公園視察、3. 17—18.
- 2 科学研究費基盤研究(c)「オーストラリア文学にみる太平洋戦争の記憶の表象」 オーストラリア、ブルーム及びパースにおいて資料収集、研究打ち合わせ、7. 31—8. 8.
- 3 科学研究費基盤研究(c)「戦争・市民・ネイション—オーストラリア、インドネシア、日本をつなぐ太平洋戦争の記憶」(代表 名古屋商科大学 鎌田真弓教授) 分担研究

#### 古田島洋介

- A : 1 論文：「ピアノ演奏におけるミスタッチ——弾き間違いをめぐる若干の試論」、明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第十輯『言語と藝術』([編集責任者] 和田正美、明星大学日本文化学部) pp. 279-305、3. 20
- 2 論文：「復文の地平——失はれた学習法の復活を目指して——」、明星大学紀要「日本文化学部・言語文化学科」第15号、pp. 33-72、3. 25
- 3 編著：『漢文〈素読〉のすすめ』/ 附録CD：ナレーション+〈背景音楽〉ピアノ演奏：バッハ《ゴルトベルク変奏曲》主題〈アリア〉、125 ps.、飛鳥新社、8. 17
- B : 1 シンポジウム/研究発表：「大正天皇有関韓国・中国的漢詩作品簡介」〔中国語〕、国際学術研究会「従閉鎖鎖国到達爾文主義世界——未来展望」、山東大学威海国際学術中心、中国・山東省威海市、5. 19
- 2 シンポジウム/研究発表：「梁啓超『和文漢読法』をめぐる」、国際学術研究会「21世紀における北東アジアの日本研究」日本言語分科会、北京日本学研究中心、中国・北京市、10. 21
- 3 学術講演：「ベルリンで出逢った日中の文人——森鷗外と潘飛声——」、札幌大学文化学部「北方文化フォーラム」、札幌大学、11. 2

- C : 1 論説：「漢文屋が体験した中国最新事情」、「表現者」第10巻/平成19年1月号、

pp. 70-73、1. 1

- 2 スクリーニング講師：「漢文学 A：漢詩の諸規則」、法政大学通信教育部 2007 年度夏期教室授業第 1 群、法政大学、7. 19—25

D：1 学術調査：梁啓超『和文漢読法』字句同定調査、国家図書館分館（普通古籍）、中国・北京市、10. 22—23

#### 篠山浩文

- A：1 「木酢液の病虫害抑制効果～葉面微生物の動的変化からの解析」、農文協 [編]『肥料・土づくり資材大事典』、pp. 572-575、農文協、1 月。
- 2 「Lignin-degrading activity of edible mushroom *Strobilurus ohshimae* that forms fruiting bodies on buried sugi (*Cryptomeria japonica*) twigs」, 『Journal of Wood Science』, 53(1), pp. 80-84, Springer Japan, 2. 20.
  - 3 「Purification and some properties of  $\beta$ -fructofuranosidase I formed by *Aureobasidium pullulans* DSM 2404」, 『Journal of Bioscience and Bioengineering』, 103(5), pp. 491-493, 3 月.
  - 4 『微生物の取り扱いと同定、評価方法（第 I 講）』、技術情報協会、40ps., 7. 11.
  - 5 『微生物の取り扱いと同定、評価方法（第 II 講）』、技術情報協会、41ps., 7. 11.
  - 6 『微生物の取り扱いと同定、評価方法（第 III 講）』、技術情報協会、39ps., 7. 11.
  - 7 「Dissimilatory iodate reduction by marine *Pseudomonas* sp. strain SCT」, 『Applied and Environmental Microbiology』, 73(18), pp. 5725-5730, 9 月.
  - 8 「Production of fructooligosaccharides by crude enzyme preparations of  $\beta$ -fructofuranosidase from *Aureobasidium pullulans*」, 『Biotechnology Letters』 (Published online), 10. 30.
  - 9 「Hydrogen peroxide-dependent uptake of iodine by marine Flavobacteriaceae bacterium strain C-21」, 『Applied and Environmental Microbiology』, 73(23), pp. 7536-7541, 12 月.
- B：1 学会発表「葉圏から培養法で分離される糸状菌は本当にそこで生息しているのだろうか？：スギ (*Cryptomeria japonica*) 葉圏での *Pestalotiopsis* spp. および *Guignardia* spp. の分布と生態」日本農芸化学会 2007 年度大会、東京農業大学、3. 25.
- 2 学会発表 「*Pestalotiopsis* 属および *Guignardia* 属糸状菌のスギ葉圏における分布：PCR-DGGE 法を用いたスギ葉圏糸状菌多様性の評価」、日本菌学会第 51 回大会、筑波大学、5. 27.
  - 3 学会発表 「*Bacillus subtilis* 由来キシラナーゼによるフェノール性オリゴキシロ配糖体の酵素合成」、第 27 回日本糖質学会年会、九州大学、8. 1—3.
  - 4 学会発表 「全自動チップ電気泳動装置“Experion”を用いた ARDRA による 16S rRNA gene 高速解析」、BMB2007（第 30 回日本分子生物学会年会・第 80 回日本

生化学会大会 合同大会)、横浜パシフィコ、12. 11—15.

5 日本菌学会理事 (会計担当)

- C : 1 「生鮮食品の安全と微生物」、千葉大学公開講座『食品安全ビジネス論』、5. 11.  
 2 「微生物バイオテクノロジー」、学校法人小山学園東京テクニカルカレッジ集中講義、6. 1、15、22、7. 6.  
 3 「微生物とその利用」、学校法人小山学園東京テクニカルカレッジ集中講義、8. 31、9. 7、14、21、28、10. 5.  
 4 「自然観察の勧め」、松戸市民大学講座『身近な場所の自然観察～フィールドミュージアムをつくろう』、10. 6.  
 5 「加工食品の安全と微生物」、千葉大学公開講座『食品安全ビジネス論』、10. 12.  
 6 「松戸の道端～江戸川河川敷の自然」、松戸市民大学講座『身近な場所の自然観察～フィールドミュージアムをつくろう』、10. 13.  
 7 「微生物工学特論」、千葉大学大学院融合科学研究科集中講義、10. 13、21.  
 8 「街の植栽と歴史的景観」、松戸市民大学講座『身近な場所の自然観察～フィールドミュージアムをつくろう』、11. 18.  
 9 「千葉大学園芸学部キャンパスミュージアム活動紹介」、松戸市民大学講座『身近な場所の自然観察～フィールドミュージアムをつくろう』、11. 24.  
 10 「微生物同定」、技術情報協会通信教育講座、通年。

- D : 1 コミュニケーション・発想空間について ドイツ連邦共和国ミュンヘンを中心にフィールド調査、3. 9—13  
 2 手塚治虫の生物描写について 宝塚市立手塚治虫博物館において資料調査、12. 28.

#### 柴田雅生

- A : 1 (資料紹介)「明星大学蔵 奈良絵巻『十番切』釈文」、  
 『明星大学研究紀要 日本文化学部言語文化学科篇』第十五号、p. 109～129、3. 25  
 A : 2 (事典項目執筆)『日本語学研究事典』(明治書院)、  
 執筆項目「大乘院寺社雑事記」「蔗軒日録」「蔭涼軒日録」、1. 15

#### 正慶 孝

- A : 1 論文 (単著)「カリスマ的支配とセレブリティ的支配」、『日本文化学部共同研究論集』第十輯『言語と藝術』、pp. 193-227、3. 20.  
 2 論文 (単著)「「偽りの力」をあたえてしまった現代技術」、『日本文化学部言語文化学科紀要』、pp. 5-19、3. 25.  
 3 論文 (単著)「コロンブスの時代からモーツァルトの時代へ」、『祈月書院報』第24号、pp. 1-3、11. 1.  
 4 編著『日本人教育の条件——グローバル化と人間形成』、原書房、286 ページ。共

同編著者西村俊一東京学芸大学教授、3. 28.

- 5 論文(単著)「国家と共同幻想——吉本隆明の国家観批判」、『季報唯物論研究』第99号、pp. 34-42、2. 28.

B : 1 「日本人のアイデンティティー形成と学校カリキュラムに関する研究」プロジェクト副代表(至3月末日)。

2 同上プロジェクト代表(自4月1日)。

3 講演「地球規模の課題に人類はどう向き合うべきか」、祈月書院研修会、於学士会館、6. 3.

4 研究発表「世界認識の方法としてのイスラーム」、田中逸平研究会、於日本出版会館、10. 5.

5 研究発表「反世界としてのイスラーム」、田中逸平研究会、於日本出版会館、10. 9.

C : 1 「イノベーションと教育」、国際商業出版、月刊『国際商業』1月号、p. 142、1. 1.

2 「フェティシズムからの解放」、同上2月号、p. 186、2. 1.

3 「ロビンソン・クルーソーの経営学」、同上3月号、p. 136、3. 1.

4 「一時的社会の陥穽」、同上4月号、p. 148、4. 1.

5 「スウィフトの憂鬱」、同上5月号、p. 124、5. 1.

6 「隷従への道」、同上6月号、p. 124、6. 1.

7 「二宮尊徳の革命思想」、同上7月号、p. 136、7. 1.

8 「反戦思想としての戦争哲学」、同上8月号、p. 144、8. 1.

9 「秩序と進歩」、同上9月号、p. 136、9. 1.

10 「政治の季節」、同上10月号、p. 148、10. 1.

11 「世界認識の方法」、同上11月号、p. 152、11. 1.

12 「議会を無視する審議会政治」、同上12月号、p. 132、12. 1.

13 「プラトンの教育論」、『天地人』第55号、p. 4、10. 20.

#### 田村良平(筆名:村上湛)

A : 1 著書(単著):『すぐわかる・能の見どころ〜物語と鑑賞139曲』、東京美術、10. 15.

2 評論:「離魂隅田川〜1月の能・狂言」、『能楽タイムズ』1月号、能楽書林、1. 1.

3 評論:「雪消山骨露」〜関根祥六〈檜垣〉の成果、『能楽タイムズ』4月号、能楽書林、4. 1.

4 評論:「追いつめる藝・追いつめぬ藝〜6月の能・狂言」、『能楽タイムズ』6月号、能楽書林、6. 1.

5 評論:「晩秋初冬傑作四選」、『新能楽ジャーナル』39号、pp 4-7、たちばな出版、1. 1.

6 評論:「興行主義化への疑念」、『新能楽ジャーナル』40号、pp 4-7、たちばな出版、3. 1.

- 7 評論：「負荷と脱力」、『新能楽ジャーナル』41号、pp 4-7、たちばな出版、5. 1.
- 8 評論：「萩原達子さんと見た能」、『新能楽ジャーナル』42号、pp 4-7、たちばな出版、7. 1.
- 9 評論：「復曲の意義と行方」、『新能楽ジャーナル』43号、pp 4-7、たちばな出版、9. 1.
- 10 評論：「宝生流〈関寺小町〉復興」、『新能楽ジャーナル』44号、pp 4-7、たちばな出版、11. 1.
- 11 評論：「狂言界の現状」、『日本の伝統芸能』、NHK 出版、4. 1.
- 12 評論：「横浜能楽堂企画公演～組踊〈執心鐘入〉」、『神奈川新聞』芸能欄、4. 12.
- 13 評論：「遠山無限碧層々～片山九郎右衛門のいま」、『九郎右衛門の喜寿を祝う会パンフレット』、10. 13.
- 14 聞書：「二人の会の二人～香川靖嗣×塩津哲生」、『第19回二人の会パンフレット』、2. 25.
- 15 聞書：「狂言〈花子〉〈釣狐〉を中心に（山本東次郎氏との対談）」、『日本の伝統芸能』、NHK 出版、4. 1.
- 16 聞書：「藝を語る～富田清邦」、『第21回富田清邦地歌箏曲演奏会パンフレット』、12. 5.
- 17 対談：「能の道ひとすじ～斯道五十年を聞く（梅若六郎氏との対談）」、『第7回夏期講座講義録・禅といま』、pp 40-65、道元フォーラム推進委員会（大本山永平寺）、6. 10.
- 18 解説：「狂言〈寝音曲〉・能〈養老〉」、『国立能楽堂』1月号、pp. 4-6、独立行政法人国立能楽堂、1. 6.
- 19 解説：「狂言〈佐渡狐〉・能〈籠太鼓〉」、『国立能楽堂』1月号、pp. 14-15、独立行政法人国立能楽堂、1. 6.
- 20 解説：「狂言〈重喜〉・能〈敦盛〉」、『国立能楽堂』2月号、pp. 6-7、独立行政法人国立能楽堂、2. 7.
- 21 解説：「狂言〈二人大名〉・能〈松山天狗・三段之楽〉」、『国立能楽堂』3月号、pp. 6-7、独立行政法人国立能楽堂、3. 7.
- 22 解説：「狂言〈花盗人〉・能〈隅田川〉」、『国立能楽堂』4月号、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、4. 11.
- 23 解説：「狂言〈飛越〉・能〈須磨源氏・宛〉」、『国立能楽堂』5月号、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、5. 9.
- 24 解説：「狂言〈水掛簀〉・能〈車僧・白頭〉」、『国立能楽堂』6月号、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、6. 6.
- 25 解説：「狂言〈船渡簀〉・能〈経政〉」、『国立能楽堂』7月号、pp. 6-7、独立行政法人国立能楽堂、7. 4.
- 26 解説：「狂言〈鐘の音〉・能〈雨月〉」、『国立能楽堂』8月号、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、8. 1.
- 27 解説：「狂言〈墨塗〉・能〈俊寛〉」、『国立能楽堂』9月号、pp. 4-5、独立行政法人

- 国立能楽堂、9. 5.
- 28 解説：「狂言〈魚説法〉・能〈野宮〉」、『国立能楽堂』10月号、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、10. 3.
- 29 解説：「狂言〈因幡堂〉・能〈実盛〉」、『国立能楽堂』11月号、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、11. 7.
- 30 解説：「狂言〈抜殻〉・能〈六浦〉」、『国立能楽堂』12月号、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、12. 5.
- 31 解説：「能〈卒都婆小町〉〈実朝〉・狂言〈鎌腹〉」、『二人の会公演パンフレット』、2. 25.
- 32 解説：「能〈落葉〉」、『名曲を観る会特別公演・源氏物語の能公演パンフレット』、7. 14.
- 33 解説：「能〈石橋・連獅子〉〈松風・見留〉・狂言〈口真似〉〈魚説法〉」、『第26回日比谷シティ夜能公演パンフレット』、10. 23、24.
- 34 解説：「能楽劇〈夜叉ヶ池〉について」、『能楽劇〈夜叉ヶ池〉公演パンフレット』、10. 2.
- 35 評談：「能楽展望～観客とスター（2）」、『新能楽ジャーナル』39号、pp. 14-17、たちばな出版、1. 1.
- 36 評談：「能楽展望～観客とスター（3）」、『新能楽ジャーナル』40号、pp. 14-17、たちばな出版、3. 1.
- 37 評談：「能楽展望～能界情報とメディア」、『新能楽ジャーナル』41号、pp. 14-17、たちばな出版、5. 1.
- 38 評談：「能楽展望～能界情報とメディア（2）」、『新能楽ジャーナル』42号、pp. 14-17、たちばな出版、7. 1.
- 39 評談：「能楽展望～観世栄夫の軌跡」、『新能楽ジャーナル』43号、pp. 14-17、たちばな出版、9. 1.
- 40 評談：「能楽展望～観世栄夫の軌跡（2）」、『新能楽ジャーナル』44号、pp. 14-17、たちばな出版、11. 1.

- C : 1 平成19年度芸術選奨推薦委員（演劇部門）
- 2 平成19年度第62回文化庁芸術祭執行委員会執行委員・同審査委員（舞踊部門）
- 3 平成19年度第文化庁芸術創造活動重点支援事業等協力者会議委員（伝統芸能部門）
- 4 平成19年度独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化振興基金運営委員会伝統芸能専門委員
- 5 表千家東京都青年部長
- 6 『新能楽ジャーナル』編集委員として年6回の雑誌発行に携わる。
- 7 喜多流〈落葉〉復興上演に際して上演台本の校訂・補綴を務める。（7. 14. 「名曲を観る会特別公演・源氏物語の能」において上演。シテ：塩津哲生）
- 8 NHK教育テレビその他にて放映の能〈葛城〉にて解説を務める。（1. 27. 初放映。シテ：三川泉）



- 9 NHK 教育テレビ放映の狂言〈花子〉収録に立ち会い助言役を務める。(3. 13. 宝生能楽堂にて収録。シテ：山本東次郎)
  - 10 NHK 教育テレビ平成 19 年度放映「日本の伝統芸能～狂言」番組構成および同テキスト編集の助言役を務める。
  - 11 平成 17 年に脚本執筆・制作初演した能楽劇〈夜叉ヶ池〉の再演に際し、新規の修訂を担当する。(10. 2. 以降、東京・大阪・福井にて上演。主演：梅若六郎)
  - 12 「第 21 回富田清邦地歌箏曲演奏会」制作の助言役を務める。(12. 5. 紀尾井小ホールにおいて公演)
  - 13 NHK ラジオ第 2 放送「視覚障害者のみなさんへ」の「芸に終わりはない～箏曲家・富田清邦さんにきく～」において談話を収録する。(平成 21. 1. 6. 初放送)
  - 14 講演：「能楽鑑賞講座～2 月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、1. 24.
  - 15 講演：「能楽鑑賞講座～3 月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、2. 21.
  - 16 講演：「能楽鑑賞講座～4 月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、3. 28.
  - 17 講演：「札幌能学校～能〈安宅〉について（塩津哲生氏との対談を含む）」、札幌市教育文化会館、3. 7.
  - 18 講演：「能〈鬼界島〉について」、大牟田文化会館、5. 13.
  - 19 講座：「能をどう見るか～〈西行桜〉〈昭君〉」、朝日カルチャーセンター新宿校、4. 11、25、5. 9、23.
  - 20 講座：「能をどう見るか～〈落葉〉〈砧〉」、朝日カルチャーセンター新宿校、7. 12、8. 2、9、9. 6
  - 21 講座：「能をどう見るか～〈三輪〉〈実方〉」、朝日カルチャーセンター新宿校、11. 22、29、12. 20、27.
- D : 1 平成 19 年度日本文化演習 2B (3 年次) にて、『源氏物語』若菜上の巻を学生と共に読む。
- 2 平成 19 年度日本文化研究にて、学生と共に京都・祇園祭視察に赴く。7. 15—17.
  - 3 平成 19 年度日本文化特論 C にて、学生と共に三聲會公演 (狂言〈武悪〉、能〈井筒〉) を見る。12. 24.
  - 4 源氏物語輪読会にて、『源氏物語』橋姫の巻を学生有志と共に読む。同じく能〈落葉〉を見る。(7. 14.)
  - 5 日奥劇場文化における古典演目上演状況比較のためオーストリア国ウィーン市に滞在、ウィーンシュターツオペラその他にて歌劇〈聯隊の娘〉ほかを鑑賞視察する。4. 27—5. 5.

#### 西本絹子

- A : 1 『軽度発達障害をもつ子どもと児童館・放課後学童クラブ』、「いわて児童館テキスト」、第 2 巻、pp. 7-22、岩手県立児童館いわて子どもの森、3. 1

- B : 1 学会シンポジウム企画・話題提供 『自立的に悩む力を支えたい——効率よく質の

- 高い間接支援を目指して』、日本発達心理学会自主シンポジウム、「保育・教育への臨床発達支援実践はどこまで可視化できるのか」、第18回日本発達心理学会、埼玉大学、3. 24
- 2 学会発表 「事例検討を通した学童保育指導員に対する研修の効果と意義（1）参加者の評価と事例報告の意義」、第18回日本発達心理学会、埼玉大学、3. 26
  - 3 学会発表 「事例検討を通した学童保育指導員に対する研修の効果と意義（2）グループ討論の内容の検討」、第18回日本発達心理学会、埼玉大学、3. 26
  - 4 学会発表 「地域の統合保育のシステムづくりを支援する研修型コンサルテーション（1）一研修の企画と参加者の評価」、第18回日本発達心理学会、埼玉大学、3. 26
  - 5 学会発表 「地域の統合保育のシステムづくりを支援する研修型コンサルテーション（2）一研修の過程と相談員の役割」、第18回日本発達心理学会、埼玉大学、3. 26
  - 6 学会連合資格「臨床発達心理士」認定運営機構 指定科目取得講習会講師
  - 7 学会連合資格「臨床発達心理士」認定運営機構臨床発達心理士資格認定委員会 審査委員
  - 8 学会連合資格「学校心理士」認定運営機構「日本学校心理士会」東京都支部ブロック世話人
- C：1 講師 「子どもに合わせた保育をどのように作っていくか」、八王子市平成18年度障害児等保育研修会、八王子市役所、2. 14
- 2 講師 「育児・保育現場での発達とその支援 保育場面でのアセスメント」学会連合資格「臨床発達心理士」認定運営機構指定科目取得講習会、日本女子大学、5. 12
  - 3 講師 「育児・保育現場での発達とその支援 保育場面でのアセスメント」学会連合資格「臨床発達心理士」認定運営機構指定科目取得講習会、白百合女子大学、7. 31
  - 4 集中講義 「幼児臨床心理学」、千葉大学教育学部集中講義、8. 1、8. 3、8. 7、8. 8
  - 5 講師 「軽度発達障害児など気になる子どもたちの中での育ちを促す取り組み」、杉並区平成19年特別支援児童受け入れ学童クラブ担当者実践交流会、杉並区立児童青少年センター「ゆう杉並」、9. 12
- D：1 「おはなしお兄さんお姉さんのこわーいお話と遊びの会」、『小学生体験講座』、教職科目「総合演習」履修造形芸術学科3年次学生とともに、伝統的な怪談と創作の2種類の紙芝居作りと紙芝居実演、及び子どもの遊び指導に取り組む。8. 4
- 2 現地調査 小学校と学童保育における特別支援教育の連携のあり方の検討を目的として、小学校と学区内学童保育においてADHD児童を対象としたコンサルテーションを試験的に実行する。杉並区立小学校・同学童クラブ、10. 13、12. 13

## 服部 裕

- A : 1 (論文)「ことばと自然の物語への旅立ち ペーター・ハントケの『反復』についての考察」、明星大学研究紀要「日本文化学部・言語文化学科」、第15号、pp. 17-36、3. 25
- C : 1 「戦後ドイツと日本 ―過去との対決と忘却―」、明星大学青梅校公開講座『ドイツ文化の過去と現在』、10. 13

## 林 雄介

- A : 1 翻訳(糟谷憲一、並木真人、月脚達彦と共訳): アンドレ・シュミット『帝国のはざまで―朝鮮近代とナショナリズム』、名古屋大学出版会、322 p、1. 20
- B : 1 シンポジウム/パネリスト: 日韓歴史共同研究プロジェクト第9回シンポジウム、於統営忠武ホテル、12. 20―12. 23
- 2 朝鮮史研究会幹事長、年間
- 3 歴史科学協議会編集委員、年間
- D : 1 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査: 米国国立公文書館および米議会図書館において資料調査、1. 28-2. 3
- 2 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査: ハワイ大学図書館において資料調査、6. 25―6. 30

## 菱山覚一郎

- A : 1 「外国文献からみた日本の戦後教育改革」、『戦後教育史研究』(第21号) pp. 45-56、12. 20.
- C : 1 公開講座「子どもの教育を考える ～見直してみませんか? 絵本の魅力～」明星大学青梅校、6. 2.
- 2 東京都市町村社会教育委員連絡協議会シンポジウム「地域をいきいきとする社会教育～『ふれあい・参加・笑顔』が創ったものは～」、平成19年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第一ブロック研修会コーディネーター、9. 29.
- D : 1 絵本の読み聞かせに関する実態調査 ～ロングセラーとベストセラーに対する保護者の意識・子どもの意識～(子ども読書の日に関連した調査)、4. 20―4. 27.
- 2 昭和初期の民間教育運動について 南多摩地区の民間教育運動の現地調査・資料収集・聞き取り調査、8. 20―8. 22、8. 24.

## 秀村研二

- A : 1 「韓国社会における死をめぐる民俗文化の変容―火葬の増加と葬儀場」、朝倉敏夫・

岡田浩樹編『グローバル化と韓国社会—その内と外』（国立民族学博物館調査報告69）、pp. 31-42、3. 30

- B : 1 「本の紹介 李仁夏著『歴史の狭間を生きる』、『韓国朝鮮文化研究』第6号、pp. 237-239、風響社、10. 15  
2 韓国・朝鮮文化研究会役員  
3 財団法人春風学寮評議員
- C : 1 「韓国社会の変化と生と死をめぐる文化の変化」（環日本海医療論）新潟大学医学部保健学科、7. 12  
2 「朝鮮半島における地域紛争」（国家・民族問題と地域紛争）、日本大学生産工学部、12. 14、12. 21、1. 11
- D : 1 「韓国社会におけるキリスト教の受容、及び民俗文化の変容に関する文化人類学的調査・研究」、大韓民国ソウル市、大邱市、京畿道高陽市、京畿道坡州市、京畿道龍仁市、8. 24—9. 14

深澤 清

- A : 1 （論文）「自然から言葉を切り取る藝術—言葉の戦いに終焉を—」明星大学日本文化学部共同研究論集第10輯『言語と藝術』pp. 146—169、3. 20  
2 （編著）『経験の地平を歩く』明星大学一般教育77頁、1. 15
- B : 1 日本ユースホステル研究員  
2 夏期セミナー「炭焼きを通して見えないものをみる」主催 7. 31—8. 1
- D : 1 多摩川にて学生に対する水質調査指導 8. 1  
2 ウェールズ バンゴー大学 RS Thomas 研究センターにて文献調査 8. 26—9. 4  
3 「御岳山の自然と歴史」学生指導 9. 20  
4 「浜街道を歩く」学生指導 9. 25

丸山正義

- A : 1 論文 「印象主義と文学—モネとプルースト、『スワン家の方へ』におけるヴィジョンヌ川の描写をめぐる」、明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集第十輯（十周年記念号）『言語と芸術』pp. 3-29、3. 20.  
2 翻訳 アンリ=ルイ・ド・ラ・グランジュ 「グスタフ・マーラー5（承前）過渡期 不安定、貧困、情熱 ヨゼフィーネ・ポイスル 社会主義者・菜食主義者マーラー リーピナーとの出会い（1878-1880）」、明星大学紀要「日本文化学部・言語文化学科」第15号、pp. 183-188、3. 25.

- D : 1 一般教育科目『文学』において2001年度よりはじめたブルースト『失われた時を求めて』全七篇を2007年度完了する。

### 三木友里

- B : 1 「青海省蔵医薬文化博物館にある唐卡『中国蔵族文化芸術彩絵大観』について」  
チベット文化研究会2007年、法光大学、5. 25.
- C : 1 「外国人留学生帰国後日本との交流のあり方」  
中国海洋大学留学生センター、4. 4.
- 2 「中国の大学生の就職の現状について」  
財団法人日中文化交流財団第17回公開講座、4. 26.
- 3 「日本の教育制度について」  
青海省循化撒拉族自治县、道幃蔵族郷、古雷村の古雷中学校、8. 17.
- 4 「今の日本の伝統文化と青年」  
中日青年文化交流会、9. 6.
- 5 「日中の学術・産学協同研究のあり方」  
中国国家専門家局、9. 10.
- 6 ダライ・ラマ14世  
「The Lamp for the Path to Enlightenment」  
チベット・モンゴルカルチャーセンター（アメリカ、インディアナ）、10. 24—10. 26.
- 7 ダライ・ラマ14世「心の愛と寛容、平和について」  
インディアナ大学公開講座、10. 28.
- D : 1 「イスラム族とチベット族の共存生活について」  
青海省循化撒拉族自治县、道幃蔵族郷、古雷村にて文化、風俗、生活の実態調査、  
8. 9—8. 29.
- 2 「循化撒拉族自治县誌について」  
青海省循化撒拉族自治县庁内県誌編纂委員会弁公室において資料調査、8. 18—8. 21.

### 三橋 正

- A : 1 「蔵王権現と黄不動—日本の山岳宗教における神の出現—」、『明星大学日本文化学部共同研究論集・第十輯 言語と芸術』所収、pp. 341-371、3. 20
- 2 「律令祭祀の変質と律令外祭祀」、『明星大学紀要—日本文化学部言語文化学科—』15号、pp. 53-60、3. 25
- 3 神道大系編纂会編『神道古典研究 会報合本（下）』（論文「大祓の成立と展開」  
「中世的神職制度の形成——「神社神主」の成立を中心に——」を再録）、pp. 76-130, 430-482、4. 27

- 4 「王朝文学の背景となる神道・仏教史を中心に」、藤本勝義編『王朝文学と仏教・神道・陰陽道』竹林舎、pp. 70-82、5. 30
  - 5 書評：Scheid Bernhard and Mark Teewen, eds. "The Culture of Secrecy in Japanese Religion", London : Routledge, 2006, xvi+380 pp.、『日本仏教総合研究』5、pp. 79-85、5. 31
  - 6 『日本女性史大辞典』吉川弘文館、「多治比文子」「八乙女」「念持仏」などの項目を執筆、7. 31
  - 7 「仏教受容と神祇信仰の形成」、『宗教研究』353、9. 30
- B : 1 日本仏教総合研究学会運営委員  
2 戒律文化研究会『戒律文化』第6号編集委員  
3 比較宗教精神史研究会会長
- C : 1 日タイ修好120周年記念事業の一環としてチュラーロンコーン大学での講演会「文学と儀礼に見る日本仏教 (Lecture on "Japanese Buddhism in literature and rites" at Chulalongkorn University)」を企画、「『源氏物語』と仏教」を講演、タイ王国チュラーロンコーン大学、1. 22
- D : 1 クメール文化におけるシンクレティズムについて、アンコールワット・コッケイなどの史跡調査、1. 18—21  
2 平安・寺院史研究会を西口順子氏・岡野浩二氏・佐藤文子氏などと発足・第1回研究会開催（於アスニー山科）、4. 7—8  
3 故細谷勘資氏の業績を所功氏・岡野浩二氏らと『中世宮廷儀式書成立史の研究』（勉誠出版）にまとめ、しのぶ会を企画・開催、4. 29  
4 「日本文化史」（1年生学科必修科目）における国分寺・東山道跡などの見学を実施、5. 28  
5 学生と結成した平安時代史研究会・宗教文化研究会で合宿（於ハヶ岳山荘）、8. 5—8  
6 学生と結成した印刷・出版文化研究会で見学会（於印刷博物館）を開催、8. 11  
7 平安・寺院史研究会第2回研究会を開催（於名古屋私立大学）、9. 22—23  
8 清涼寺文殊菩薩像調査、10. 1  
9 「日本文化史」において比較宗教精神史研究会の協力のもと仏教儀礼の比較実演を実施、11. 26  
10 小右記講読会で『小右記』長和二年条を『御堂関白記』などと比較しながら読む  
11 『小右記』長元四年条の註釈（2008年5月刊行予定）作業を進める  
12 大正大学総合佛教研究所神仏習合研究会で『麗気記』後半の諸巻の註釈（出版準備）作業を進める

**Eric R. Mooney**

- D : 1 Language Education Theory and Practice at Various Bangkok, Thailand Universities (study trip)

**山下善明**

- A : 1 「偶然を医やすもの——論理言語の撞着と芸術言語」、日本文化学部編『言語と藝術』、PP. 306-340、明星大学日本文化学部、3. 20.  
 2 Auflichtung durch Komplexe Systeme ?——Überlegungen im Vorfeld der Integration von Religion und Wissenschaft, Theodor Leiber(Hg.) Dynamisches Denken und Handeln, S. 276.-289., Hirzel Verlag, 9. 30.
- B : 1 「多摩哲学会」委員長  
 2 「統合学術国際研究所」研究員  
 3 第五回国際統合学会合同研究会 講演（松井孝典、村上陽一郎）質疑応答及びシンポジウムの司会、KKR ホテル熱海、12. 28-29.
- C : 1 公開講座「哲学の国、ドイツ」、明星大学青梅校秋季公開講座『ドイツ文化の過去と現在』第2回、10. 20.

**山本陽子**

- A : 1 （論文）「瓢箪足小考—鳥居派・又兵衛・仁王像—」『明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第10輯 言語と芸術』pp. 252-278、明星大学青梅校日本文化学部 平成19年3月  
 2 （論文）「崇る御衣木と造仏事業—なぜ霊木が仏像の御衣木に使われたのか—」『明星大学研究紀要』[日本文化学部・言語文化学科紀要] 第15号 pp. 73-83、明星大学青梅校 平成19年3月  
 3 （論文）「金戒光明寺蔵地獄極楽図屏風の使用方法について」『日本宗教文化史研究』第11巻第1号 pp. 82-101、日本宗教文化史学会 平成19年5月
- B : 1 （学会発表）「雲乗の十一面観音図様再考」於 南都復興における縁起と美術（「寺社勸進・修造をめぐる唱導文芸に関する文献学的研究」[基盤研究(C)] 研究集会（南都文化研究会共催）」平成19年12月  
 2 （研究資金の採択）「物語絵画における武士—表現の比較研究と作例のデータベース化」平成19年度科学研究費補助金・基盤研究(C) 195201140001  
 3 （学会活動）日本宗教文化史学会大会委員（11月まで）・同学会誌『日本宗教文化史研究』編集委員（11月より）
- D : 1 （教育活動）自立と体験B文章研究Hクラス授業の一環として、「空想美術館」と題し、各学生に作品を選ばせ解説を書かせて展示。（於渡廊下 6月26日～7月5

日)

- 2 (教育活動) 夏休み小学生体験講座⑤『『鳥獣戯画』を使って自分だけの絵巻をつくろう』として、小学生20名に絵巻について解説し、『鳥獣戯画』のコピーを使用して切り張りしたりせりふを入れさせたりして、各自の独自の絵巻を作らせる。(於明星大学 8月4日)
- 3 (教育活動) 自立と体験B文章研究Hクラス授業の一環として、明星大学蔵『平家物語』絵本三・四巻の図版写真に図版解説と事項解説を付けさせ展示。(於渡廊下 10月4日～11日)
- 4 (研究活動) 奈良絵本、特に明星大学蔵『平家物語』絵本と関連する作品についての調査。(於岩瀬文庫 8月25日～27日、他)

#### 和田正美

- A : 1 (論文)「言語に表れた美の形——文学において美とは何か」明星大学日本文化学部共同研究論集第10輯『言語と藝術』pp. 77-118、3. 20
- 2 (論文)「ロバート・リンド小論」明星大学研究紀要〔日本文化学部・言語文化学科〕第15号 pp. 21-31、3. 25
  - 3 (論文)「図式の中に置かれた人間」産経新聞社「正論」8月号、8. 1
  - 4 (論文)「日本の未熟、私の未熟」産経新聞社「正論」11月号、11. 1
- B : 1 日本比較文学会第45回東京大会における研究発表の司会「江藤淳の1953年草稿について」(発表者・山田潤治) フェリス女学院大学 10. 13
- 2 明星大学日本文化学部共同研究論集第10輯の編集に従事す。